平成26年度予算見積調書

課室名: 温暖化対策課
担当名: 総務・エコライフ推進担当
内線: 3038　　(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B18	低炭素型ライフスタイル推進事業費	一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	地球温暖化対策推進費

事業期間	平成17年度～	根拠法令	なし	戦略項目	09　新エネルギー埼玉モデルの構築
				分野施策	040202　低炭素な暮らしとまちづくりの推進

1　事業の概要

埼玉県における家庭部門の2011年のＣＯ2排出量は2005年に比べ22.2%増と増加の一途を辿っている。

そこで、家庭におけるＣＯ2削減を進めるとともに、広く県民に向けた普及啓発事業を実施する。

（１）エコライフＤＡＹの推進　4,450千円
（２）地球温暖化防止活動推進員の活動促進　2,022千円
（３）さいたま環境賞表彰事業の実施　360千円
（４）ライフスタイルキャンペーンの実施　330千円

2　事業主体及び負担区分

(県10/10)

3　地方財政措置の状況

普通交付税（包括算定経費）
（区分）企画費　（細目）環境保全対策費
（細節）環境保全対策費
（積算内容）地域の実情に応じた環境保全対策

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

人件費　9,500千円×1人＝9,500千円

5　事業説明

（１）事業内容

ア　エコライフＤＡＹの推進(6～9、12～3月)　4,450千円
イ　地球温暖化防止活動推進員の活動促進(通年)　2,022千円
ウ　さいたま環境賞表彰事業の実施(9～3月)　360千円
エ　ライフスタイルキャンペーンの実施(通年)　330千円

（２）事業計画

ア　地域における温暖化対策普及啓発活動の担い手育成
地球温暖化防止活動推進員を新たに委嘱（任期２年）するとともに、地球温暖化防止活動推進員の研修を充実させ、各地域におけるより効果的な活動を促進する。

イ　他団体との連携による普及啓発活動の実施
ＮＰＯ、県内企業等と連携し、それぞれのノウハウや強みを活かした普及広報活動を展開する。

（３）事業効果

ア　エコライフＤＡＹへの参加者拡大
イ　他の模範となる環境活動の表彰(過去の応募数585、受賞者数158)

（４）県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況

市町村、県民、企業、ＮＰＯ等との連携による事業を実施している。

ア　市町村、埼玉県地球温暖化防止活動推進員、企業、ＮＰＯ等との連携によるエコライフＤＡＹの実施
イ　埼玉県地球温暖化防止活動推進員による地域での取組の支援
ウ　企業、ＮＰＯとの共同による表彰の実施
エ　新たな広報ツールとしてのfacebookの活用(平成24年度～)

（５）その他

	予算額	財源内訳						一般財源	前年との対比
		繰入金							
決定額	7,162	7,068						94	2,513
前年額	4,649	4,537						112	